

# 関係住民の皆様から河川整備計画変更原案 についていただいたご意見とその対応

令和8年3月30日

国土交通省 中部地方整備局  
沼津河川国道事務所



## 狩野川水系河川整備計画変更原案 パブリックコメント結果

実施期間	縦覧箇所等	意見数	備考
令和8年2月12日～3月13日 (30日間)	静岡県沼津土木事務所 流域自治体(7自治体)関係各課受付 沼津河川国道事務所及び河川系出張所 沼津河川国道事務所ウェブサイト	17	ウェブ投稿フォーム 5件 郵送 1件 メール 2件 意見箱投函 9件

### 【事例】狩野川水系河川整備計画変更原案の縦覧状況写真



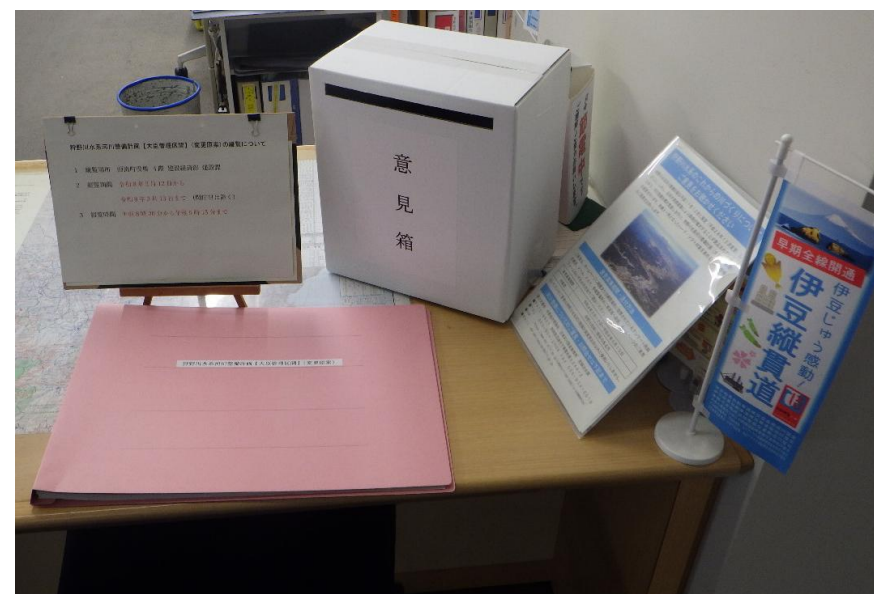
静岡県 沼津土木事務所



伊豆の国市



伊豆市



函南町

## 関係住民説明会 開催結果

会場	開催日時	開催場所	参加人数	報道関係	意見数
伊豆の国市会場	2/25(水) 19:00～20:30	あやめ会館多目的ホール	25	0	17
沼津市会場	2/26(木) 19:00～20:30	沼津市民文化センター大会 議室	7	1	8

## 主な関係機関説明 開催結果

関係機関	開催日時	開催場所	参加団体
静岡県沼津土木事務所	2/19(木) 13:30～14:30	沼津土木事務所	静岡県
自治体合同説明会	2/18(水) 14:30～15:30	WEB会議	流域自治体7団体
内水面・外水面漁協	2/12、2/25、3/5、 3/6	各漁協	4団体
河川関係NPO団体	2/16、3/5	NPO団体	2団体

狩野川水系河川整備計画変更原案に関する関係住民説明会 各会場状況写真

伊豆の国市会場

令和8年2月25日  
伊豆の国市 あやめ会館

沼津市会場

令和8年2月26日  
沼津市 沼津市民文化センター



# パブリックコメント・説明会でいただいた 主な意見に対する考え方

狩野川放水路分流堰について

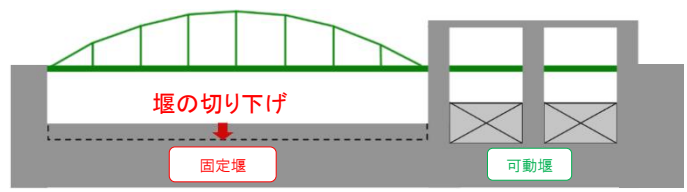
【主な意見】(パブリックコメント No.3)(説明会 No.5、19)

- 狩野川放水路分流堰の固定堰切り下げ、今までより早く多くの水を流すことが出来ることにより生物(鮎など)が今まで以上に流される可能性が高く考慮してもらいたい。
- 放水路の堰を下げると内水においてとても助かると思うが、具体的にどれくらい下げるのか。
- 固定堰を下げると来光川の水位が下がると説明を受けたが、目標流量の資料では、大場川や来光川の流量が今の計画と流量が変わらないとなっている。流量と水位の関係について、固定堰を下げれば水位が下がるという捉え方でよいのか。

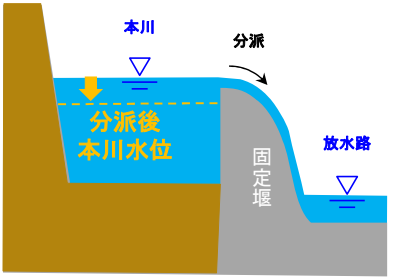
【意見に対する考え方】

- 洪水発生時に放水路へ分派される状況をモニタリングし、生物への影響を確認してまいります。
- 分流堰の切り下げにより、中小洪水における放水路への分派量が増加することによって、放水路より下流の水位が低下することが期待できます。
- 令和元年東日本台風の際に仮に固定堰を1m切り下げていた場合の試算では、来光川合流点では約0.6m、大場川合流点では約0.5m水位低下し、来光川や大場川でも水位低下が期待できることを示しています。
- 今後、調査・設計を行い、詳細な構造を検討してまいります。

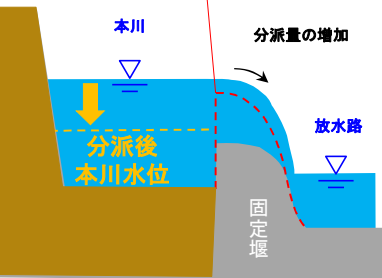
<整備イメージ>



整備前

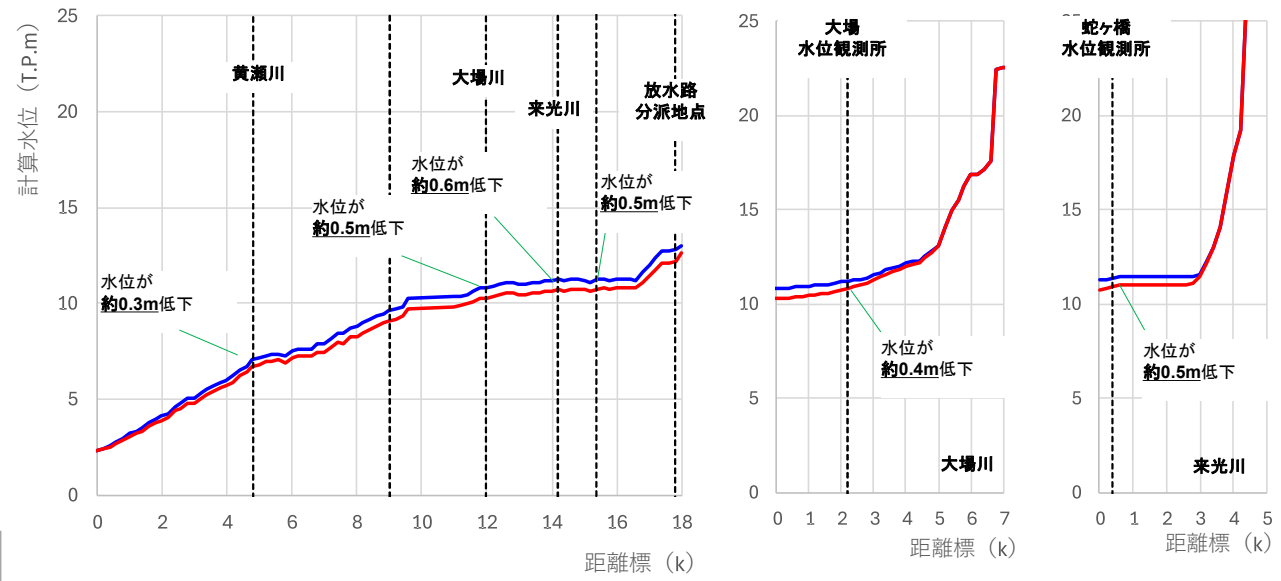


整備後



固定堰切り下げ前後の本川水位低下イメージ

分流堰改築による令和元年東日本台風時の想定水位低下効果



狩野川本川の水位低下効果

狩野川支川の水位低下効果

※固定堰を1m切り下げた場合の試算

### ゴミ問題について

#### 【主な意見】(パブリックコメント No.4)

- 河川内で草刈りをした後の草がそのまま残されている場合があり、洪水が発生すると、溜まっている草が狩野川河口や狩野川放水路から海まで流出し、海岸に流れ着いてゴミ処理に困っている。
- 流木も流れ着いたり、海底に沈んで網に引っかかることがあるため、ゴミ処理に対しても意識をしてもらいたい。

#### 【意見に対する考え方】

- 河川内のゴミに関しては、河川巡視を定期的を実施し、不法投棄などを含め、注意喚起するとともに、自治体と連携して対応してまいります。



河川巡視の実施



不法投棄禁止の呼びかけ



工事名 令和6年度 狩野川上流部  
維持管理修繕工事  
工程 施工状況等  
測点 22 長門第一川橋 (沼津市側)

**集草状況**



工事名 令和6年度 狩野川上流部  
維持管理修繕工事  
工程 施工状況等  
測点 19 長門第一川橋 (沼津市側)

**積み込み状況**

維持管理における除草及び刈草の処分運搬

河川空間の利活用について

【主な意見】(パブリックコメント No.5、13)

- ・ 河口から永代橋までの2kmは、現在の沼津港の元となる、川湊の河岸港として沼津の繁栄を支えた場所です。堤内側には今でも、老舗の天麩羅屋や鰻店など川湊に由来する店舗や沼津旧繁華街の名残を残す商店等があり、本河川整備計画の基本理念で謳う「連続性を基調とした川づくり」を実現するため、人と人、上流と下流、過去と現在の関係の延長線上にある魅力と活力に満ちた川づくりのため、歴史的価値に根ざした利用とそれを実現し易い構造とすることは効果的と考えます。
- ・ 私たちの身近な狩野川が後世へきれいに維持されるためには、地域住民や多くの方が河川に親しめる環境整備が必須であり、河川空間の高水敷や堤防、低水路のさらなる活用が必要である。
- ・ 伊豆の国市の川の駅伊豆城山から狩野川リバーサイド公園、千歳橋堤外地公園、狩野川さくら公園、函南町川の駅、沼津市上土地区などの拠点を結ぶ河川環境整備、上下流の拠点の結びつきをより一層強めるポイントをしっかり反映していただきたい。

【意見に対する考え方】

- ・ ご意見の区間を含め、沼津市街地は歴史的資源や風致のポテンシャルを有していると認識しており、現在は2.4kp左岸付近において「上土地区水辺整備事業」を推進しているところです。
- ・ 狩野川沿川で「かわまちづくり計画」に登録された沼津市、伊豆の国市、函南町と国土交通省とが協力連携することを目的として狩野川流域河川空間利活用連携協議会を設置しています。計画登録された3地区の川の駅や都市・地域再生等利用区域とで連携し、更なる活用推進を図るよう、関係機関と利活用策の検討を進めてまいります。
- ・ また、各拠点の結びつきをより一層強める点について、いただいたご意見も参考に環境整備を検討してまいります。

かのがわ風のテラス (狩野川下流部)

- ・ 狩野川下流部の沼津市上土地区では、地元住民や沼津市、国土交通省等からなる協議会により水辺空間の活用を検討し、「かのがわ風のテラス」が整備された。
- ・ オープンカフェやバーベキュー、ステージやイベント等を楽しむことができる空間として、にぎわいと憩いの場を創出している。
- ・ 令和6年8月に対岸側の整備を含めて沼津狩野川かわまちづくりに登録された。



かのがわ風のテラス



沼津狩野川かわまちづくり伝達式



整備に向けたイメージ図



サイクリング



水辺で乾杯(3拠点接続)

河道掘削について

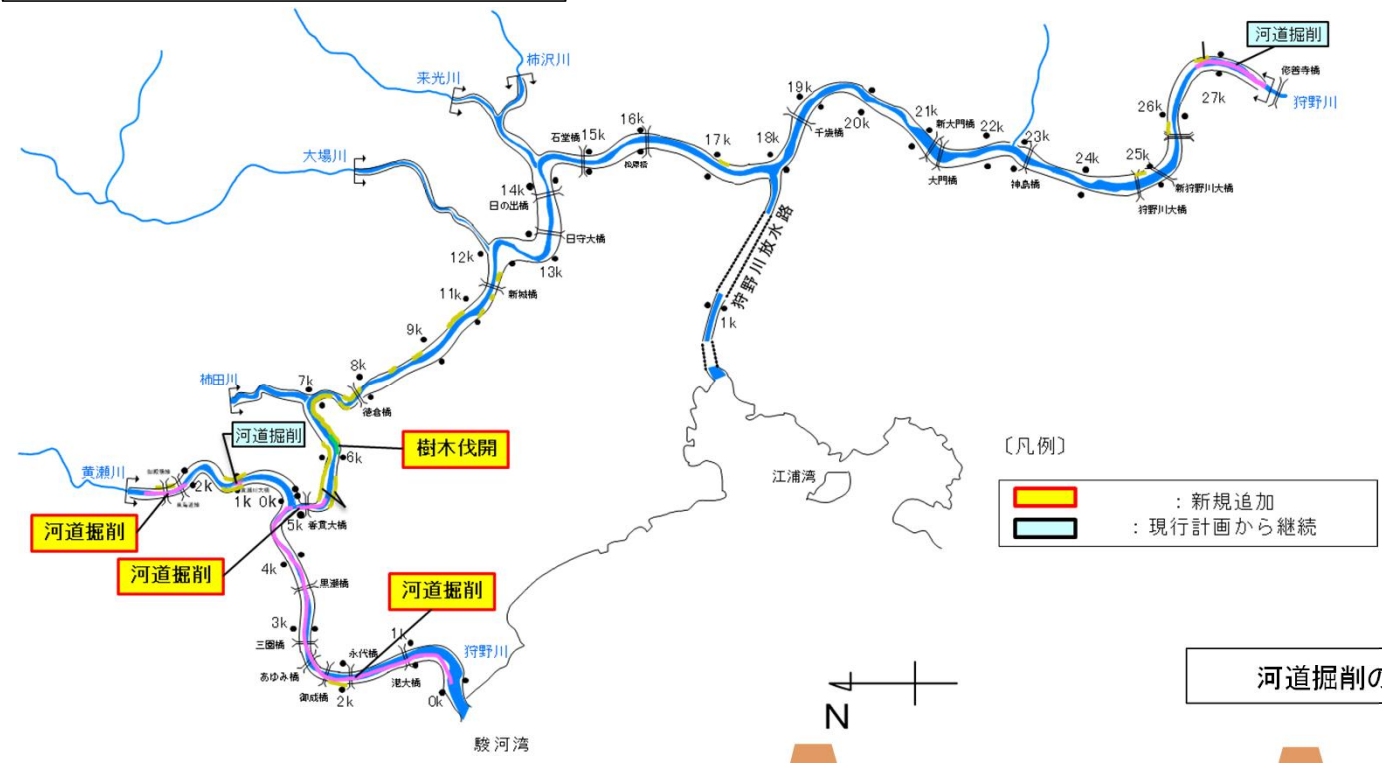
【主な意見】(パブリックコメント No.14)(説明会 No.14)

- ・ 狩野川では掘削を定期的に行っているのか。
- ・ 川底の掘削及び除去と堆積土砂の撤去の推進。

【意見に対する考え方】

- ・ 狩野川では、河川整備計画に基づき、流下能力が不足している箇所では河道掘削を実施しています。
- ・ 定期的に流下能力の確認を行い、土砂が再堆積した箇所等については、河道の維持管理として河道掘削を実施しています。

変更河川整備計画の河道掘削整備箇所



【事例】黄瀬川合流点付近の河道掘削

河道掘削の実施イメージ



狩野川水系河川整備基本方針について

【主な意見】(説明会 No.2)

- 既設狩野川放水路の改築等を含めた洪水調節機能の確保について、狩野川水系河川整備基本方針では狩野川放水路が3,400m<sup>3</sup>/sになると示されていたが、今回は既設放水路を含め2,700m<sup>3</sup>/sとの表現である。基本方針に向けた残りの700m<sup>3</sup>/sはどのような扱いになるのか、教えていただきたい。

【意見に対する考え方】

- 狩野川放水路3,400 m<sup>3</sup>/sは、将来計画である狩野川水系河川整備基本方針の中で定められている放水路で受け持つ洪水調節の計画高水流量です。
- 今回の河川整備計画では、既設放水路を含めて流域で2,700m<sup>3</sup>/sの洪水調節機能確保を行うことが目標であり、河川整備基本方針の計画高水流量に向けて、段階的な整備を実施してまいります。

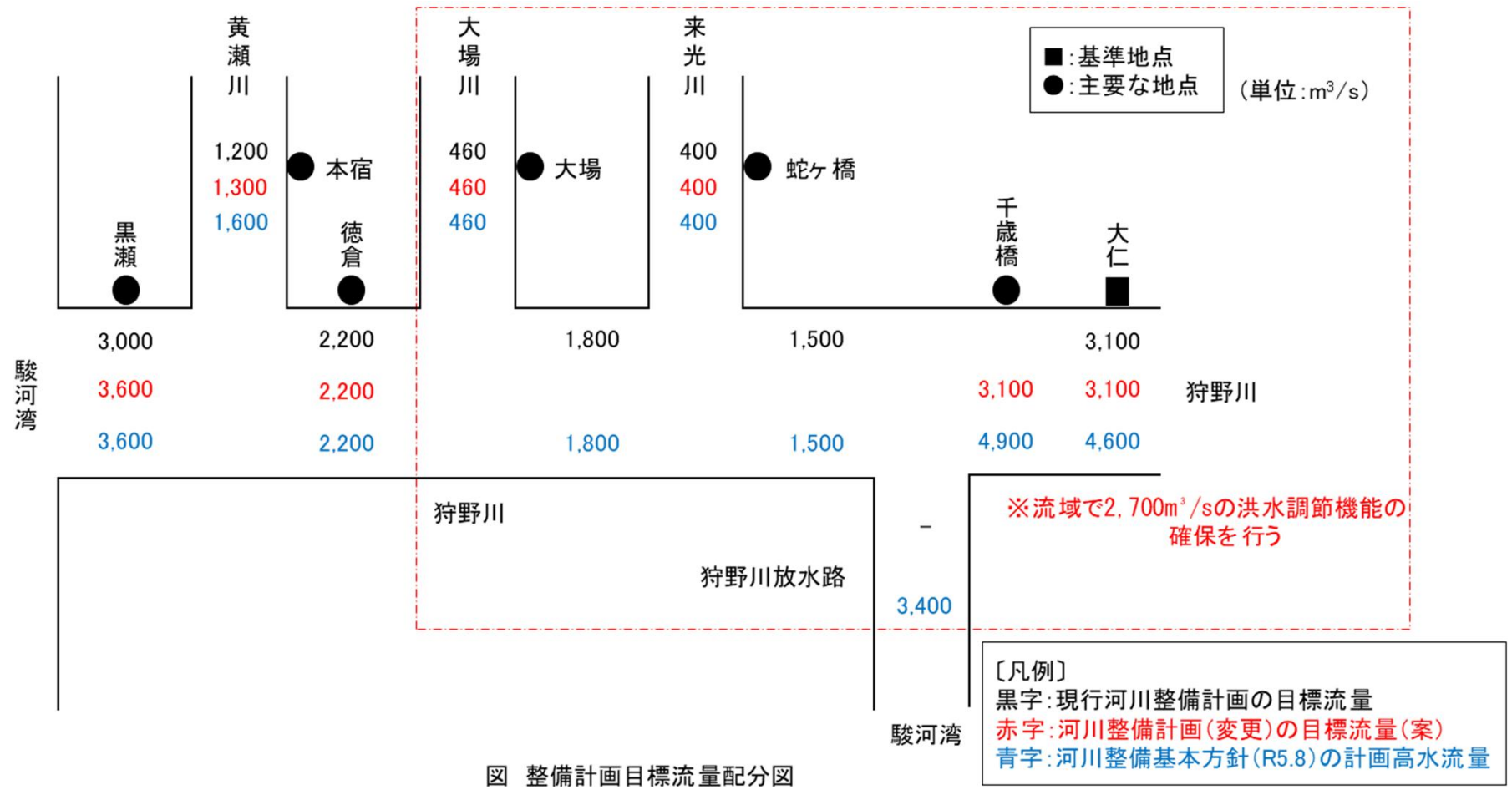


図 整備計画目標流量配分図

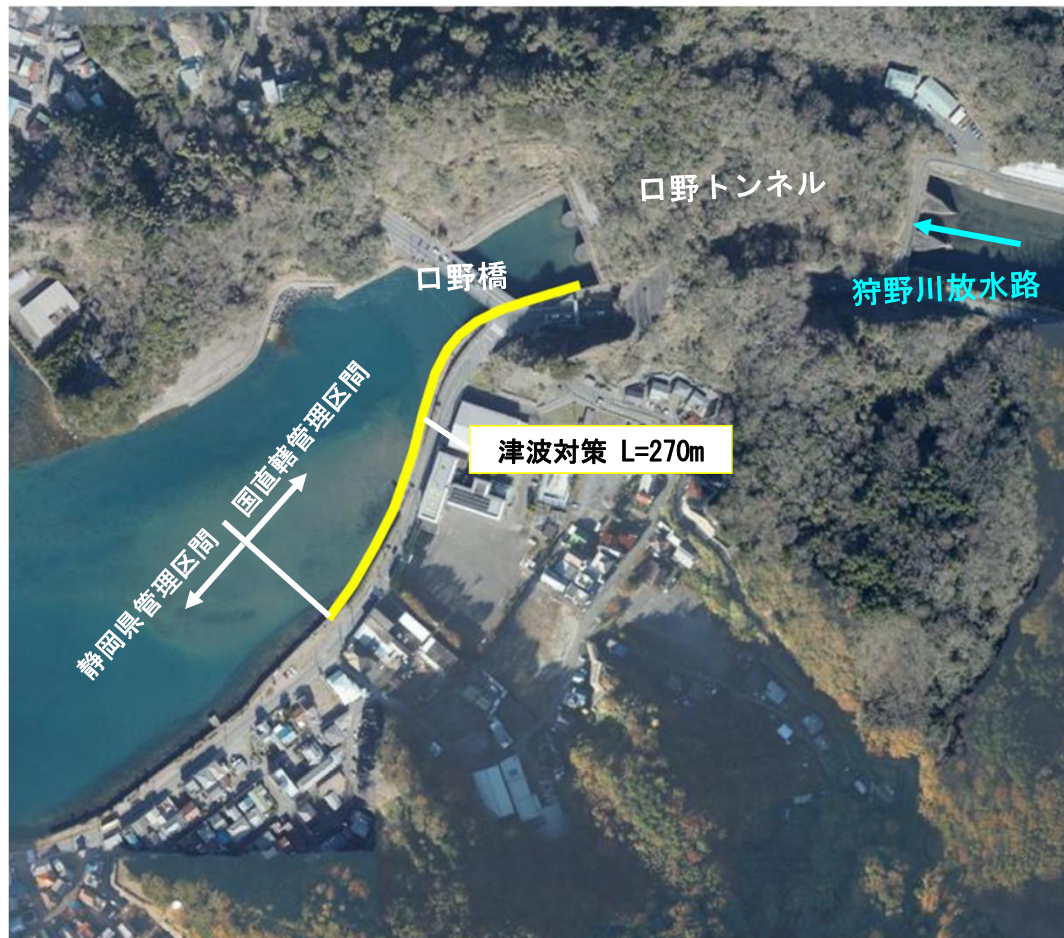
## 津波対策について

## 【主な意見】(説明会 No.15)

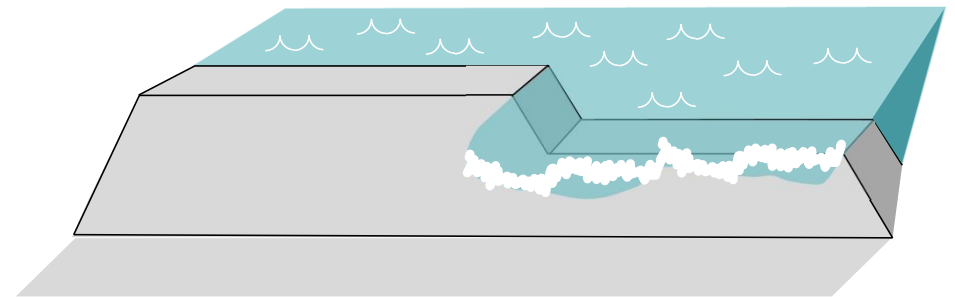
- ・ 狩野川放水路の河口で口野橋から海側に河川領域があり、県が海岸堤防を作ることに併せて堤防を作ると思うが、県の事業と一緒にやるのか別々に整備計画を立てるのかどちらなのか。

## 【意見に対する考え方】

- ・ 狩野川放水路の左岸(口野橋付近下流)は国直轄管理区間と県管理区間となっており、津波対策は管理者毎に計画しています。
- ・ 堤防が一連で完成しない場合、堤防高の低い箇所等から津波が越水する恐れがあるため、海岸管理者と連携しながら津波対策事業を調整してまいります。



堤防高が一連でない場合、  
低い箇所や整備されていない箇所から  
津波が越水する恐れがある



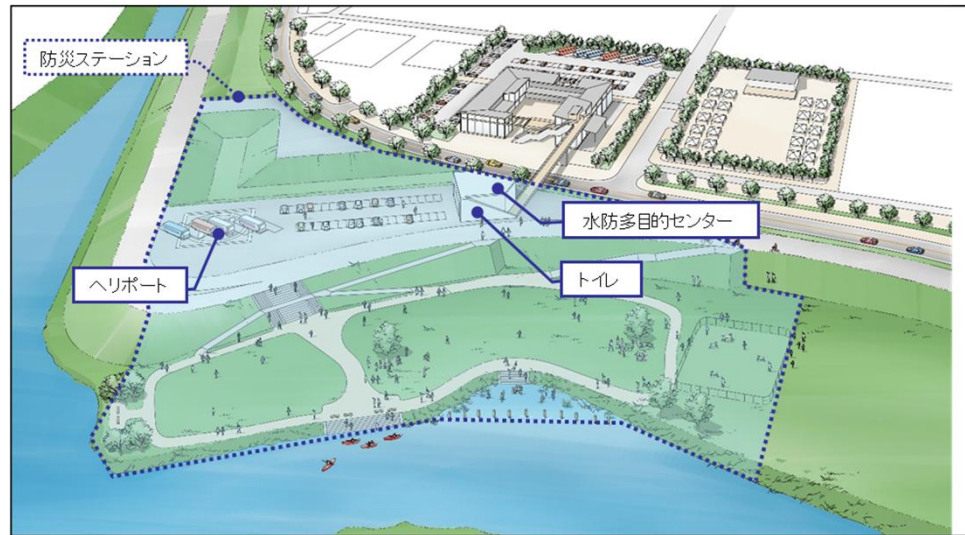
防災ステーションの整備について

【主な意見】(説明会 No.22)

- ・ 危機管理対策として函南町の伊豆ゲートウェイ函南が河川防災ステーションになっていることは羨ましいと思う。次の整備計画でも、防災ステーションを整備予定とのことだが、川の駅として整備された伊豆城山が位置的に望ましいのではないか。伊豆城山は今年度かわまちづくり大賞を受賞した。伊豆城山では近隣の順天堂大学病院に患者が運ばれるときにヘリポートが活用されている。

【意見に対する考え方】

- ・ 伊豆ゲートウェイ函南は、川の駅や防災ステーションとして、平常時及び非常時に有効活用できるよう整備されています。
- ・ 川の駅伊豆城山は、にぎわいの場を創出することを目的に整備され、現在は平常時に活用いただいておりますが、広く整備された空間を、平常時だけではなく、非常時にも活用できることは有効であると考えております。
- ・ 新たな防災ステーションの位置を検討していく際には、いただいたご意見も参考に選定してまいります。



川の駅伊豆城山全景



被災時復旧用盛土や堤防天端道路整備



被災に備えた備蓄ブロック



ヘリポートによる防災ヘリ運用



賑わいの場としての活用

川の駅伊豆ゲートウェイ函南(防災ステーション)の利活用状況

川の駅伊豆城山の利活用状況